

テーマ 小満(生命力がみなぎる季節)

主な花材



デルフィニウム

(長野県産)

名前の由来は、蕾が丸みを帯びたイルカに似ているので、ギリシャ語のdelphis（イルカ）から名付けられました。爽やかなライトブルーの花が特徴的です。

花言葉：清明、高貴



スカビオサ

(長崎県産)

名前の由来は、ラテン語の「scabies(スカビエス)」によります。疥癬（かいせん）という意味があり、スカビオサの仲間に皮膚病に効果があることから名付けられました。

花言葉：不幸な愛、私はすべてを失った



オクラレルカ

(徳島県産)

一般的にはアイリスの名称で知られています。長くとがった葉をもち、生け花の花材としてよく用いられます。

花言葉：よい知らせ



ローズゼラニウム

(奈良県産)

ローズゼラニウムの花言葉は、独特な香りや花の形、多様な用途から生まれています。ピンクや白の花を咲かせ、ローズの香りを持っているのが特徴です。

花言葉：選択、真実の愛情、恋わずらい



ジャイアントピトス

(イスラエル産)

名前の由来は、種子の粘着質な性質からギリシャ語で「ベタベタした種」という単語が組み合わさったことで命名されたそうです。トベラ科の常緑低木で、淡い緑の葉に白い斑が入ります。

花言葉：飛躍、偏愛、慈しみ

